



発日監第 21 号
平成28年8月30日

日吉津村長 石 操 様

日吉津村監査委員 岡嶋利行 

日吉津村監査委員 三島尋子 

平成27年度健全化判断比率等の審査意見について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定に基づき審査に付された健全化判断比率及び資金不足比率の状況について、次のとおり意見書を提出します。

平成27年度 健全化判断比率審査意見書

1 審査の概要

この財政健全化審査は、村長から提出された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかを中心に行った。

2 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された次の健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

(単位：%)

| 健全化判断比率 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 早期健全化基準 |
|-----------|--------|--------|--------|---------|
| ①実質赤字比率 | — | — | — | 15.00 |
| ②連結実質赤字比率 | — | — | — | 20.00 |
| ③実質公債費比率 | 7.5 | 7.1 | 7.0 | 25.0 |
| ④将来負担比率 | 36.8 | 41.0 | 19.9 | 350.0 |

(2) 個別意見

①実質赤字比率について

一般会計決算の実質収支は、黒字の構成となっており問題はない。

②連結実質赤字比率

一般会計決算と同様に、特別会計も実質収支は黒字の構成となっており問題はない。

③実質公債費比率

実質公債費比率の早期健全化基準は25%である。また、18%を超えると地方債の借入れが協議制から許可制になるとされているが、その数値を下回っている。前々年度は7.5%、前年度も7.1%と低い水準で推移しており、地方債の返済や資金繰りの指標として問題はない。

④将来負担比率

前々年度は36.8%、前年度は41.0%であったが、平成27年度は19.9%と低下した。将来負担比率の早期健全化基準350.0%を大きく下回っており、地方債や将来支払っていく可能性のある負担等について問題はない。

(3) 是正改善を要する事項

下水道事業の起債償還が終焉を迎えているが、今後は、公共施設の新設や修繕が必要になることも考えられる。現在のところ財政運営に問題はないが、将来を見据えた運営に努めていただきたい。

平成27年度 公共下水道事業特別会計経営健全化審査意見書

1 審査の概要

この経営健全化審査は、村長から提出された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかを中心に行った。

2 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された次の資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

(2) 個別意見

平成27年度公共下水道事業特別会計決算では地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行令第16条に規定する資金の不足額がないため、資金不足比率は算定されない。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。